

## ネットワーキング委員会「ふらっと交流サロン」報告

2023.6.26

ネットワーキング委員会 金南・新見・中尾・藪田・由井（五十音順）

### 1. 開催概要

#### 「ふらっと交流サロン」

##### <開催日時>

6月10日(土)12:00-13:00

##### <開催趣旨>

ネットワーキング委員会では、第44回大会の昼休みに、参加者同士で気軽に話し合い、情報共有をしたり、研究・実践につながるネットワーク構築の場になるよう「ふらっと交流サロン」を対面で開催した。

##### <実施形態>

対面

##### <プログラム>

12:00 - 12:05 開会挨拶・趣旨説明

12:05 - 12:20 小グループで交流①

12:20 - 12:25 任意で席移動(名刺交換タイム)

12:25 - 12:40 小グループで交流②

12:40 - 12:45 任意で席移動(名刺交換タイム)

12:45 - 12:55 小グループで交流③

12:55 - 13:00 名刺交換タイム・アンケート記入・閉会挨拶

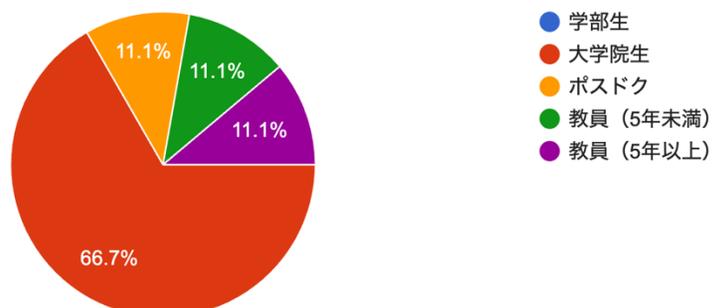
### 2. 参加状況

事前登録29名、当日参加者合計22名、ネットワーキング委員4名  
うち事後アンケートに回答のあった9名の内訳を参考に以下に記す。

## <参加者プロフィール>

### プロフィール

9 responses

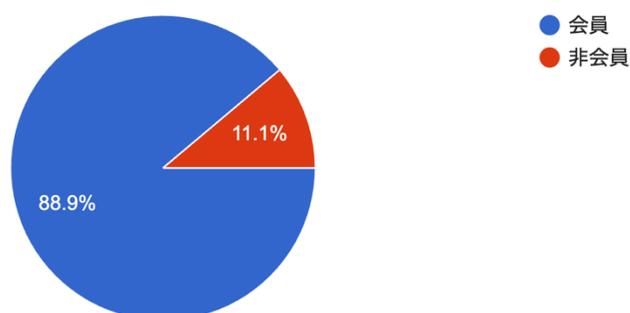


大学院生の方が6名で最多。ポスドク、教員(5年未満)、教員(5年以上)がそれぞれ1名ずつ。

## <会員・非会員>

### 会員または非会員

9 responses



会員8名、非会員1名。

## 3. アンケート結果報告

満足度 3.78 / 4

<本日の交流会の内容について、ご感想などを自由にご記入ください。>

いろんな方と交流できることは良かったです。

なんでもありのテーブルへ行きましたが、全く違うことをやっっているながら、themeとしては共通点のある方たちと知り合うことが出来て良かったです。実は異文化間教育学会は入会に値する会なのかどうか見極める材料を得るために今回参加しております。私は長年海外にいたので研究内容は今まで英語で読んできたものと比べて新しいものはありませんでしたが、ふらっと交流サロンのなんで

もありテーブルではより実践よりの方たちと知り合うことが出来て、異文化間教育学会少し面白いかも思っているところです。

グループの人数が多くて、自己紹介だけで終わることもありました。人グループを3人までに減らし、自己紹介のところは指示(名前・所属・悩みを一分でなど)してくださるとディスカッションしやすいかなと思いました。

でも、このような貴重な機会があったおかげで、様々な方を知ることができ、大変、励みになりました。ご企画していただき、感謝しています。

自身の切実なテーマです。

柔らかい雰囲気の間を作ってくださっていたので、あまり緊張せず交流できました。自己紹介の時間をしっかりとれたことと、移動してもしなくてもいいという自由さが良かったです。

交流会で出会った方とその後もお話できて嬉しかったです。ありがとうございました！

いろんな方と話をすることができて、とても有意義でした。

とても温かく、誰もが飛び入り参加できる空間を作ってくれたことに感謝です。委員会の方々の進行も緊張する参加者を和ませてくださって、新参者でもリラックスして色々な方と自然とお話をして楽しむことが出来ました。どうもありがとうございました。

ネットワーク作りをしたいけどどうしたらいいかわからない人にとっても助かります。とてもよかったです。

気軽にお話しできました。

#### <大会の交流会に向けたアイデア・ご意見>

質的研究と量的研究に関する内容があれば嬉しいです。

なんでもありという柔軟性はある意味エスノグラフィックが良いと思います。

また、次回の学会でも、このような交流の機会を設けてくださると、私のような会員を始めたばかりの者にとっては、異文化間教育学会がより身近なものになると思います。

もう少し長い時間、質疑応答できる方法を考えてください。

「実践と研究」をテーマに実践を研究することや、研究者が実践を続けることなどについて話してみたいです。

今回のテーブルごと設定されていたテーマは、誰もがどれかしらを選んで話すことが出来るような一般的なものだったのでとてもよかったです。ネットワーキングとは少し異なってしまうかもしれませんが、よりカジュアルに研究の意見交換をできる場として、「日本語研究」「多文化研究」などと研究テーマごとの交流会もあれば、ぜひ参加をしてみたいと思いました。

グループ分けして、テーマを決めて話すようになったら少し始まりにくい感じがしました。自己紹介と研究テーマの紹介で、もっと多くの方と話ができたらいいなと思います。

進め方についてゲームを使って進んでいけばもっとスムーズかもしれないです。

#### 4. 振り返り

昨年度から引き続き、学会初日のランチタイムに対面で交流会を実施した。当日は、21名の方に参加をしてもらうことができた。去年に引き続き、できるだけ気軽に立ち寄ってもらえるように、準備不要で参加の敷居を下げて実施した。去年の交流会で課題となっていた、共通するテーマに関心を持つ人々での交流ができるようなプログラムで設計をしつつ、任意のグループ分けの機会を取り入れることで、多くの人と交流したいという方にも配慮をした。

当日は、簡単な趣旨説明の後、「小グループでの交流」の時間を15分ずつ3回設けた。各回の交流の時間の間には、名刺交換タイムを設け、別のグループに移動したい方には任意で席の移動を行い、新たなメンバー同士で交流を行っていただいた。事後アンケートでは、柔らかい雰囲気の中、

色々な人と気軽に交流することができた、ネットワーク作りに役立ち、出会った方と交流会後も話すことができたなどの声を頂いた。チームワークよく、リラックスした雰囲気づくりなどが上手な委員のメンバーの皆さんのご尽力のおかげで、良い雰囲気の中交流会が実施できたことに感謝したい。

他方、今後の課題として、もう少し長い間参加者同士で話をしたかったというご意見や、逆により多くの人と話がしたかったというようなご意見をいただいた。また、具体的な研究テーマ別でのグループを設定して、研究に関する意見交換もしてみたいというご意見もいただいた。これらのご意見を踏まえて、参加者同士の深い交流と幅広い交流の両立に加え、ご自身の研究や実践に向けたヒントを得ていただけるよう、今後、工夫して企画を実施したいと考えている。今回のイベントは、この委員で担当する最後の企画となったが、新しい委員メンバーが10月頃のイベントの実施に向けて、企画を開始している。今後も、会員内外の多くの方々に対して、研究・実践を共に深めるためのネットワーキング作りに役立つ企画の運営に取り組んでいきたい。(文責:新見)